

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名        |    | 公表日                                                                                                                                                  |    |     |                                                                |                                       |
|-------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|----------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 学童デイサービスよつば |    | R8年 3月 29日                                                                                                                                           |    |     |                                                                |                                       |
|             |    | チェック項目                                                                                                                                               | はい | いいえ | 工夫している点                                                        | 課題や改善すべき点                             |
| 環境・体制整備     | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。                                                                                                                         | ○  |     | 人数が多い場合は、別室対応出来る等環境に配慮している。                                    |                                       |
|             | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。                                                                                                                     | ○  |     | 理学療法士や保育士、調理師等の資格を持った職員が在籍している。                                |                                       |
|             | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。                                                                |    | ○   |                                                                | 保護者様のご協力を得てその子にあった福祉器具を用いて支援、介助をしている。 |
|             | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。                                                                                                | ○  |     | 床・机・トイレ・手洗い場などの衛生管理を継続して行っている。消毒や換気も定期的実施している。                 |                                       |
|             | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。                                                                                                           | ○  |     | 感情が高ぶってしまった子を落ち着かせる等、別室に移動して対応するなどしている。                        |                                       |
| 業務改善        | 6  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。                                                                                                       | ○  |     | 改善点等があれば、その都度ミーティングをしている。                                      |                                       |
|             | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                 | ○  |     | アンケートを通して保護者様のご意見や要望等を最大限に業務に反映出来るよう工夫している。                    |                                       |
|             | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                               | ○  |     | 職員の意見を把握する機会を定期的に設け、その内容を業務改善に反映し、より良い支援体制の構築につなげている。          |                                       |
|             | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。                                                                                                                     |    | ○   |                                                                | 内部評価は行っているが、外部評価は行っていない。              |
|             | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。                                                                                                    | ○  |     | セミナーや研修を通して、知識や技術の研鑽をしている。事務所内でも月1回以上の研修の場を設けている。              |                                       |
| 適切な支援の提供    | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。                                                                                                                              | ○  |     | 職員同士が意見を出し合い協議して作成しており、その内容を適切な方法で公表している。                      |                                       |
|             | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。                                                                               | ○  |     | 職員間でのカンファレンスを元に保護者様とのモニタリングを実施し、アセスメントに努め、放課後等デイサービス計画を作成している。 |                                       |
|             | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。                                                                 | ○  |     | 職員全員が情報を共有し、子どもの最善の利益を踏まえて支援計画を協議している。                         |                                       |
|             | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。                                                                                                              | ○  |     | 職員間で計画を共有し、共通理解のもとで計画に沿った支援を継続的に実施している。                        |                                       |
|             | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。                                                                  | ○  |     | 標準化ツールと日々の行動観察を併用し、フォーマル・インフォーマル両面から子どもの適応行動を継続的に確認している。       |                                       |
|             | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○  |     | ガイドラインの各支援領域を踏まえ、子どもに必要な項目を適切に設定し、具体的な支援内容を計画に明確化している。         |                                       |
|             | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。                                                                                                                               | ○  |     | 月一回話し合い、職員間で各担当を設け決めている。                                       |                                       |
|             | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。                                                                                                                             | ○  |     | 専門職が多く在籍しているため、互い専門性を活かし、活動のバリエーションを多くしている。                    |                                       |

|              |    |                                                                                    |   |   |                                                            |                                                          |
|--------------|----|------------------------------------------------------------------------------------|---|---|------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 供            | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                           | ○ |   | 職員全員での多角的視点から、意見を反映させている。                                  |                                                          |
|              | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                    | ○ |   | 午前中の時間や送迎前に行っている。                                          |                                                          |
|              | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                             | ○ |   | 翌日の朝礼等で職員全員と話し合い、記録として残している。                               |                                                          |
|              | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                                             | ○ |   | 常に職員間で些細な事でも話し合い、記録として残している。                               |                                                          |
|              | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                              | ○ |   | 保護者様とも面談を行い、継続する目標は継続し、改善すべき所は改善すべき案として考慮している。             |                                                          |
|              | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。                                       | ○ |   | ガイドラインの4つの基本活動を組み合わせ、子どもの状況に応じた多面的な支援を計画的に実施している。          |                                                          |
|              | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                               | ○ |   | 子どもが活動を選ぶ工夫を行い、自己決定の機会を確保することで、主体性や選択する力を育てる支援を継続して実施している。 |                                                          |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                           | ○ |   | 管理者や児発管だけではなく、多職種の職員も積極的に参画している。                           |                                                          |
|              | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                         |   | ○ |                                                            | 地域の保健・医療・教育など関係機関との連携体制が十分でなく、情報共有や支援調整が課題。今後連携強化が必要である。 |
|              | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。            | ○ |   | 適宜、学校との連携を図っている。                                           |                                                          |
|              | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                           | ○ |   | 受け入れの際には事前に連絡を行い、情報提供していただいている。                            |                                                          |
|              | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                   |   | ○ | 現在、学校に在籍する子ばかりの為まだ行っていないが、卒業生が出る場合は行いたいと思う。                |                                                          |
|              | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                            | ○ |   | 児童発達支援センターと相談員を通じて連携し、必要に応じてスーパーバイズや助言、研修の機会を確保している。       |                                                          |
|              | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。                                             | ○ |   | 当事業所学童の児童も在籍しているので、交流する機会が多い。                              |                                                          |
|              | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。                                                            |   | ○ | 今後はより積極的に参加機会を増やしていく。                                      |                                                          |
|              | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                   | ○ |   | 送迎時や日々の連絡帳などで伝え合っている。また定期的なモニタリングを行っている。                   |                                                          |
|              | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。       | ○ |   | 必要とされた際には、適宜相談や助言を行っている。                                   |                                                          |
|              | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。                                               | ○ |   | 不明な点があれば電話や対面での説明を行っている。                                   |                                                          |
|              | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ |   | 子どもと保護者の意思を尊重し、最善の利益を踏まえて意向確認の機会を設け、計画作成に反映している。           |                                                          |
|              | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                         | ○ |   | モニタリング時に説明をし同意を得ている。                                       |                                                          |
|              | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                      | ○ |   | 家族の子育ての悩みに丁寧に応じ、面談や必要な助言を行いながら、適切な支援を継続して提供している。           |                                                          |

|          |    |                                                                                            |   |   |                                                                  |                                                                                 |
|----------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 保護者への説明等 | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 |   | ○ |                                                                  | 現在、保護者同士やきょうだい同士の交流機会が十分に確保されておらず、父母の会や保護者会の開催支援が課題となっている。今後、交流の場づくりを検討する必要がある。 |
|          | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | ○ |   | 苦情があった際には、真摯に受け止め業務改善と共に迅速に対応している。                               |                                                                                 |
|          | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | ○ |   | 定期的にInstagramを更新し、情報を発信している。                                     |                                                                                 |
|          | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。                                                                        | ○ |   | 個人情報の取扱いに十分配慮し、個人情報使用同意書を保護者から署名・捺印のうえ取得し、適切に管理している。             |                                                                                 |
|          | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。                                                       | ○ |   | 障害のあるこどもや保護者との意思疎通に配慮し、個々の状況に応じた伝達方法や支援を工夫し、円滑なコミュニケーションを確保している。 |                                                                                 |
|          | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。                                                      | ○ |   | ハロウィン等のイベント、行事毎に地域住民との交流を深めている。                                  |                                                                                 |
| 非常時等の対応  | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | ○ |   | 担当を決め職員間で共有し、訓練を実施している。                                          |                                                                                 |
|          | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | ○ |   | 毎月一回は必ず実施している。                                                   |                                                                                 |
|          | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。                                                        | ○ |   | 契約時に服薬状況や予防接種、てんかん発作等について確認し、必要事項を書類で把握したうえで支援に活かしている。           |                                                                                 |
|          | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。                                                     | ○ |   | アレルギーのある児童に対しては、アレルギー除去又は、代用できる                                  |                                                                                 |
|          | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | ○ |   | 安全計画を作成し、必要な研修や訓練を実施することで安全管理を徹底し、その体制のもとで支援を適切に行っている。           |                                                                                 |
|          | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  |   | ○ |                                                                  | 安全計画の内容を保護者へ書面で周知できておらず、口頭説明に留まっている点が課題。今後、文書配布など周知方法の改善が必要。                    |
|          | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。                                                    | ○ |   | 職員間で共有し、再発防止に努めている。                                              |                                                                                 |
|          | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。                                                       | ○ |   | 虐待防止のため職員研修の機会を確保し、適切な対応力を高める取り組みを継続して行い、安全な支援環境の維持に努めている。       |                                                                                 |
|          | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。           | ○ |   | 身体拘束を必要とする場合等は、児童に危険がある場合に限り行うと保護者には契約の際お伝えしている。                 |                                                                                 |